

FD NEWS

～名城大学のFD (Faculty Development) とは、
学生が本気で取り組む学びを教職員が組織的に考える取組みの総称です～

Contents

1. 平成22年度後期授業改善アンケート結果報告
2. 第12回FDフォーラム
3. T&L CAFÉ
4. 大学院での学びを考える
5. 教育優秀職員表彰
6. 刊行物の紹介



学生の学習意欲を高める授業とは
～学生の主体的な学びについて考える～

1. 平成22年度後期授業改善アンケート 結果報告

アンケートへのご協力ありがとうございました



調査のねらい

- 学生の授業に対する満足度を知り、改善点・要望を把握します。
- 教員の授業に対する意識を調査します。
- 学生と教員の意識のギャップを確認します。

対象科目

担当授業のうち、最も履修者が多い講義科目において実施しました。講義以外の科目（体育科目、リレー方式で開講されている科目、実験・実習・演習等）、履修者数が少ない科目は除きました。

実施期間

平成22年11月8日（月）～11月19日（土）

実施率

686設定授業中 630授業で実施 実施率91.8%

開講学部等別回答者数等

| 開講学部等 | 実施授業数（人） | アンケート回収数（枚） |
|----------|----------|-------------|
| 法学部 | 102 | 4,997 |
| 経営学部 | 38 | 2,788 |
| 経済学部 | 21 | 1,884 |
| 理工学部 | 258 | 13,440 |
| 農学部 | 37 | 3,298 |
| 薬学部 | 37 | 3,507 |
| 都市情報学部 | 34 | 2,055 |
| 人間学部 | 22 | 1,815 |
| 教職・学芸員課程 | 18 | 717 |
| 全学共通教育部門 | 63 | 1,933 |
| 合計 | 630 | 36,434 |

本年度は、学生の皆さんからの生の声に対し、先生方からのコメントをいただいています。



学生の皆さんからの生の声

| 授業の良いところ | 件数 | % |
|----------------|--------|-------|
| 1.分かりやすい | 5,771 | 24.5% |
| 2.面白い | 2,986 | 12.7% |
| 3.板書・PPTが見やすい | 2,799 | 11.9% |
| 4.資料の活用方法 | 2,091 | 8.9% |
| 5.コミュニケーションがある | 1,737 | 7.4% |
| 6.知識等が身につく | 1,480 | 6.3% |
| 7.私語が少ない等の授業環境 | 1,337 | 5.7% |
| 8.教員の話し方 | 1,079 | 4.6% |
| 9.教員の人柄 | 1,048 | 4.4% |
| (以下省略) | | |
| 合計 | 23,579 | |

| 改善してほしいところ | 件数 | % |
|----------------|--------|-------|
| 1.板書・PPTが見にくい | 3,952 | 29.3% |
| 2.授業が分かりにくい | 2,239 | 16.6% |
| 3.資料の活用方法 | 1,159 | 8.6% |
| 4.教員の話し方 | 898 | 6.7% |
| 5.コミュニケーションがない | 891 | 6.6% |
| 6.私語が多い等の授業環境 | 870 | 6.4% |
| 7.教室の設備・環境が悪い | 459 | 3.4% |
| 8.授業がつまらない | 364 | 2.7% |
| 9.教員の人柄 | 278 | 2.1% |
| (以下省略) | | |
| 合計 | 13,492 | |



※アンケートの自由回答を集計した結果です（延べ回答数での集計）

名城大学の授業は面白い！

面白い 12.7% (2,986件) つまらない 2.7% (364件)

知識等が身につく！

身につく 6.3% (1,480件) 身につかない 0.8% (102件・上記表ではランク外)

板書・パワーポイントを見やすくしてほしい！

分かりやすい 11.9% (2,799件) 分かりにくい 29.3% (3,952件)

教室の設備・環境も改善して欲しい！ 3.4% (459件)

「皆さんからの生の声」に対する先生からのコメント

| 先生からのコメント | 件数 | % |
|---------------------|-----|-------|
| 1.学問への興味を持たせたい | 163 | 23.6% |
| 2.学生の授業理解に努めたい | 158 | 22.9% |
| 3.自主学習の習慣を身につけさせたい | 84 | 12.2% |
| 4.学生も意欲を持って取り組んでほしい | 52 | 7.5% |
| 5.板書・資料をわかりやすくしたい | 40 | 5.8% |
| 6.私語対応を改善したい | 34 | 4.9% |
| 7.新しいことや身につくことを教えたい | 22 | 3.2% |
| 8.話し方を改善したい | 17 | 2.5% |
| (以下省略) | | |
| 合計 | 690 | |

皆さんの声を受けて
「学問への興味を持たせたい！」
「学生の授業理解に努めたい！」
等、改善を進める声をいただいています。



※（延べ回答数での集計）



個別の授業のアンケート結果と先生からのコメントについては、学務センター4階、学務センター3階、附属図書館、薬学部事務室・図書館分館、都市情報学部事務室・図書館分館において、冊子にて公開中！

2. 第12回FDフォーラム

FDフォーラムとは、先生、職員、学生による、教育改善を図るための語りの場です。本年度は「学生の学習意欲を高める授業とは～学生の主体的な学びについて考える～」をテーマに行なわれました。



基調講演



小原孝久氏（元東京都立国立高等学校教諭）からの講演をいただきました

「ハート」&「スキル」！金八先生的な心意気！
学ぶ目的を学生に熱意を持って伝えることが大切

教材開発・準備にかける熱い思い

名城大学の授業を語る

法学部長谷川先生、理工学部岩谷先生からの講演をいただき、授業の工夫について意見が示されました。



大人数授業では以下のような工夫をしています

- 次回のレジュメを配布
- 小テスト
- 指定席制度

例えば、私立理工系大学における卒業研究とは？



理系技術者に必要な素養

- 基礎学力
- 問題解析力
- 創意工夫
- 表現力
- 国際理解

その他多数の経験を積むことが重要

本研究グループの取り組みに関して紹介する

自立した研究者・技術者を養成するために大切なこと

- 興味を持てる卒業研究のテーマ設定が大切
- 背伸びしてでも学会で発表すること
- 大学院生の積極的な関与

平成22年12月2日(木) に名城ホールにて開催され、合計273名が参加しました。うち、120名もの多くの学生の参加がありました。

ディスカッション

理工学部成塚先生と経済学部渋井先生を中心に、
講演者とディスカッションを行いました。



知識を得るための授業と
応用のための授業
この2つのあり方とは・・・



3. T & L CAFE

Teaching & Learning CAFEの略で、コーヒーなどを飲みながらリラックスした雰囲気、授業や大学教育に関することを気軽に語り合う場です。今年度のT&L CAFEは平成22年10月7日（木）にランチの時間を活用し、17名が参加しました。



学生のスタディスキルの修得方法
について意見交換しましょう！

※スタディスキルズ
レポート・論文の書き方、ディスカッション・プレゼンテーションの方法、ノートのとり方、図書館やコンピュータのスキルなど。

専門分野の教育における授業工夫
の事例を共有しましょう！

アンケートの結果から
「自由な意見交換ができて良い。色々な先生方の工夫を聞いて参考になった。」
「年1回ではなく数回開催されると良い。」
という声をいただきました。
T&L CAFEでは、このような経験を通して、
授業のノウハウの共有を今後も続けていきます。



4. 大学院での学びを考える

名城大学 大学院教育の底力を探る

本学では、これまで学部教育を中心に教育改善を図るための研修・研究を進めてきました。しかし、多くの大学では、大学院への進学者や様々な経歴をもつ社会人学生の増加などから、大学院教育の整備が必要になっています。そこで、平成21年度から、FD委員会に大学院チームを設置し、取り組みを始めています。

大学院チームでは、本学の大学院教育における優れた実践事例の収集を進めています。その方法として、研究活動で表彰された大学院生を輩出した研究室を取材し、その研究室の研究室文化や具体的な指導ノウハウ・ツールなどを収集しています。今後も研究室への取材から見つけた教育実践の工夫や課題に関する情報発信を続けていきます。この情報を基に、名城大学における大学院教育を考えるきっかけにつなげていきたいと考えています。これまでに取材した記事は、本学ホームページで閲覧することができます。

これまでの研究室取材は、次のとおりです。

| | | |
|--------|--------|----------|
| 理工学研究科 | 岩谷素顕先生 | 小高猛司先生 |
| | 福田康明先生 | 渡辺孝一先生 |
| 農学研究科 | 小原章裕先生 | |
| 薬学研究科 | 岡本浩一先生 | |
| | 二改俊章先生 | ・ 打矢恵一先生 |
| 法務研究科 | 青山邦夫先生 | |

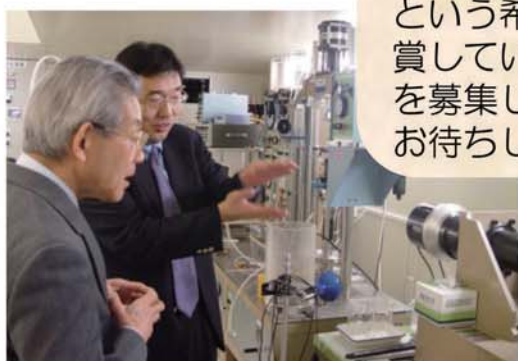


研究室取材記事『大学院教育の底力』は、次のURLで閲覧可能です。
<http://www.meijo-u.ac.jp/edc/kikan/fd/daigakuin/index.html>



☆大学院教育に関する情報を募集しています！

大学院チームでは、取材する研究室を募集しています。皆さんが所属する研究室で、是非とも取材をしてほしいという希望があれば、ご連絡ください。学会賞などを受賞していなくても、特徴のある研究指導（大学院教育）を募集しています。大学院生の皆さんからの情報提供をお待ちしています。



【連絡先】名城大学FD委員会 大学院チーム
(大学教育開発センター)
担当：谷田・堀口・楯（タテ）
(052) 838-2032、2033
edcenter@cmails.meijo-u.ac.jp

5. 教育優秀職員表彰

教育に対する教員の意識を高めることを目的として、本学では優れた教育成果をあげた教員を表彰しています。今年度は2名が選出されました。



左: 田口准教授 中央: 飯田准教授

飯田耕太郎 准教授
田口忠緒 准教授

表彰理由

6年制薬学教育における初年次教育の構築・展開のための教育法が高く評価されました。

6. 刊行物の紹介

FD活動報告書

名城大学のFD活動についてまとめた冊子です



教育年報

名城大学の教育に関する論文を掲載しています
教育に関心のある方はぜひ読んでみてください



授業改善アンケート調査結果報告書

授業改善アンケートの結果の分析と
各授業のアンケート結果が掲載されています



刊行物は名城大学大学教育開発センターホームページに掲載しております

<http://www.meijo-u.ac.jp/edc/index.html>

学生の皆さんへのメッセージ

FD活動の1つであり、このFD NEWSにも掲載されている「授業改善アンケート」。著者がこの名城大学に学生として通っていた頃、この「授業改善アンケート」を何のために実施しているのか、このアンケートがどのように活用されているのか、常に疑問を感じながら回答していた記憶があります。

そして、FDの言葉の意味も知らないまま、名城大学大学教育開発センターの職員となって早1年……。その答えが今になってようやく見えてきました。

アンケート結果に対する先生方のコメントからは、学生の回答を真摯に受け止める内容が数多く見受けられます。また、FDフォーラムや T&L CAFE についても、多くの先生が関心を持って参加しています。

講義で学んでいるのは学生だけでなく、先生方も同じように学んでいるのです。現在は、先生と職員とが一緒になってFD活動に取り組んでいますが、これからは学生の皆さんとも一緒になってFD活動に取り組める日が来ることを望んでいます。

大学教育開発センター
(A . T)

平成23年3月

発行：名城大学FD委員会

編集：名城大学大学教育開発センター

住所：〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501

電話：(052)838-2033

FAX：(052)833-5230

<http://www.meijo-u.ac.jp/edc/index.html>
